

ユーロ/円

2010.3.4

< 日足から想定される今後1週間程度の相場 >

日足は回帰値(緑色の実線)とユーロの下値圏(水色の帯)の間で極短い陽線となっています。2月下旬に回帰値を割り込んだ後、下値圏に向かう途中で横這いとなっています。今後一段下落して実体(ローソク足の太い部分)が下値圏に入る場面があると想定する方が自然ですが、下値圏の上端近辺に下値支持線の1つである - 2シグマ(紺色の実線)がありますから、これを跨いだ所で反騰に転じる可能性もあります。

< 週足から想定される今後1カ月程度の相場 >

週足は回帰値と下値圏の間で極短い同値足(始値と終値がほぼ同値の足形)となっています。当面は一段下落して実体(ローソク足の太い部分)が下値圏に入る場面があると想定されますが、これまでの相場基調に変化がないのであれば、直ぐに反騰に転じることが予想されます。下値圏の上端近辺には下値支持線の1つである - 2シグマがありますから、直ぐに反騰しないようなら、週足は新しい下降局面に入る可能性が高くなります。

< 月足から想定される今後3カ月程度の相場 >

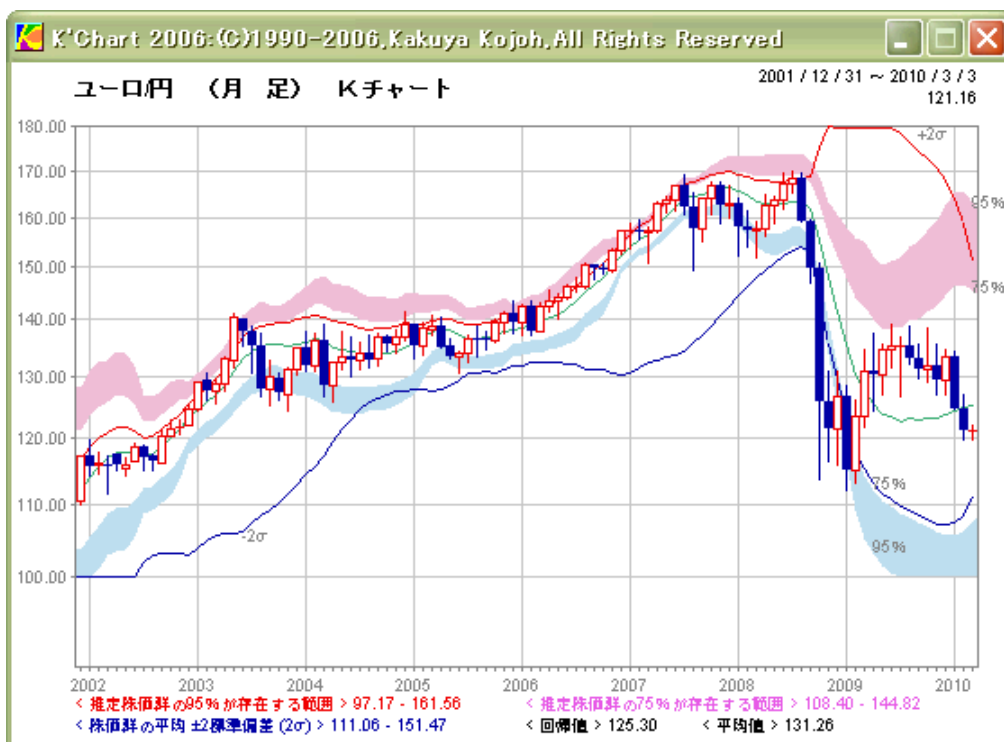
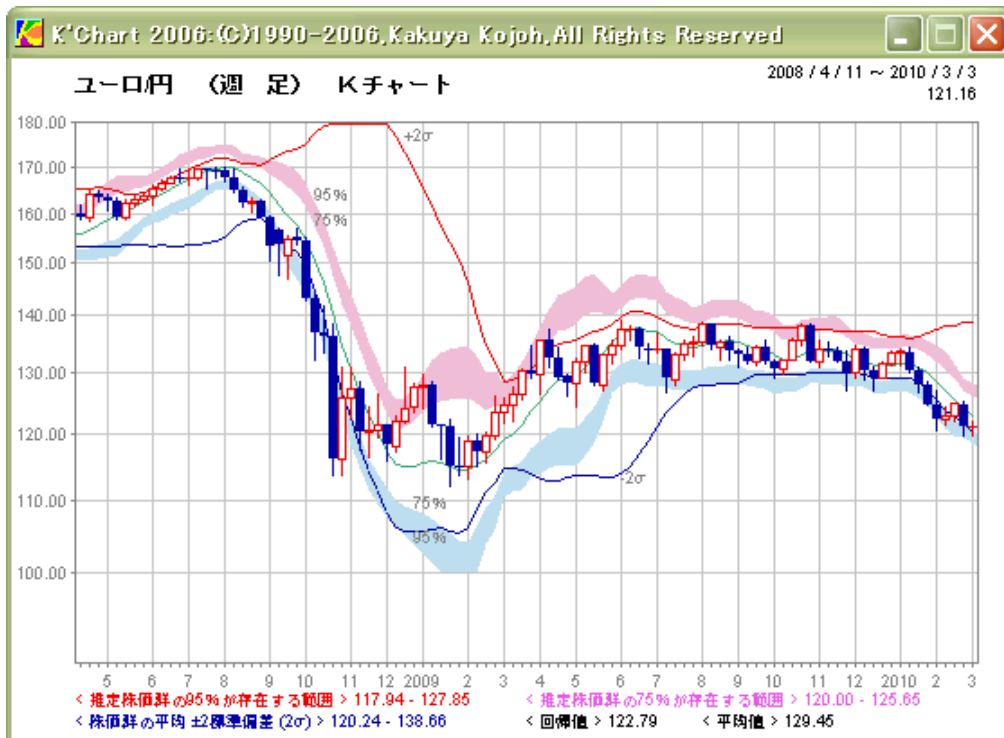
月足は回帰値と下値圏の間で極短い同値足となっています。今月末に現在程度以下の水準で終わるようなら、今後、下値圏へ向かう展開が想定されますが、回帰値を上回る陽線で終わるようなら、反騰に転じて高値圏へ向かう可能性が残ります。

欧州では、財政が逼迫している国々を次々に槍玉に挙げる、魔女狩りのような状態となってきましたが、金融危機の回避が急務だった時には財政の健全化は二の次でしたから、危機を回避できたからこそ生じた状況と見ることもできそうです。しかし、モグラ叩きが一巡するまではユーロ安の環境が続くことになりそうです。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません。その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようお願いします。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものでなく、その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。